

# 論文執筆

## — 投稿から論文掲載までの苦悩と戦略 —

研究者が研究成果を発表する方法は、大きく3つあるかと思います。第1に、学術大会での発表、第2に、大学や研究所が発行する紀要への論文投稿、第3に、学術学会が発行する学会誌への論文投稿です。いずれの場合も研究者は研究成果の質を担保することに努めなければならず、そのために「査読システム」があります。

初期キャリア研究者の多くは、査読論文として投稿することを躊躇し、投稿できたとしても査読結果を目にしたとたん、厳しい指摘内容に落ち込んでしまった経験があるのではないのでしょうか。また、査読内容に対する対応が分からず、諦めようかと悩んだ経験もあると思います。

第2回CS-NETサロンでは、以上の問題意識を踏まえて、論文執筆や査読プロセスでの苦悩や戦略について初期キャリア研究者同士で話しあう場を設けるとともに、日本社会福祉学会の機関誌編集委員会委員長をお招きし、「社会福祉学」への投稿および査読についてお話いただきます。

- ▶ 日時：2023年3月4日(土) 14:00-16:00 (無料)
- ▶ 開催方法：オンライン(ZOOM)
- ▶ 対象：本学会の初期キャリア研究者 (入会検討中の方を含む)

14:00-14:05	主催の説明
14:05-14:50	グループワーク：参加者間の意見交換
14:50-15:00	休憩
15:00-15:15	グループワークの共有
15:15-15:45	<特別講演> 坏洋一先生 (東京都立大学人間社会学部教授) プロフィール 博士(社会福祉学)。専門領域は福祉政策。 2022年5月より日本社会福祉学会の機関誌『社会福祉学』の編集委員長 (第8期)(第5期:編集委員長、第4期:編集委員)。
15:45-15:55	質疑応答
16:00	終了



参加を希望される方は、下記のメール、グーグルフォーム、上記のQRコードのいずれかにてお申し込みください(申し込み〆切:2023年2月26日)。

グーグルフォーム:<https://forms.gle/oTzsuobq9gd5ngLH9>

お問い合わせ先:[csnet.salon@gmail.com](mailto:csnet.salon@gmail.com)(研究支援委員会CS-NETサロン企画担当、姜民護・保田真希)